

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

GFX 100

New Features Guide

Version 3.00










本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種ของファームウェア更新情報をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/>

追加 / 変更項目

GFX 100 Version 3.00 では以下の機能が追加または変更されています。最新の使用説明書は、下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>

No.	概要	GFX 100 	詳細 	Ver.
1	ピクセルシフトマルチショット機能が追加されました。	—	1、11	3.00
2	撮影メニューの  画質設定 > RAW 記録方式の記録方式に圧縮の設定が追加されました。	106	3	2.00
3	撮影メニューの  画質設定 > フィルムシミュレーションに  クラシックネガと  ETERNA プリーチバイパスが追加されました。	107	4	2.00
4	撮影メニューの  画質設定 > グレイン・エフェクトで強度と粒度をそれぞれ設定できるようになりました。	108	5	2.00
5	撮影メニューの  画質設定にカラークローム ブルーが追加されました。	109	6	2.00
6	撮影メニューの  撮影設定 > フォーカス BKT で、フォーカス BKT 撮影の方法をマニュアルまたは AUTO から選べるようになりました。	139	7	2.00
7	撮影メニューの  動画設定 > F-Log/HLG 撮影が F-Log/HLG/RAW 撮影に変更され、RAW 出力ができるようになりました。	158	9	2.00
8	お気に入りの設定方法が変更になりました。これにともない情報表示切り替えの内容が変更になり、再生メニューにレーティングが追加されました。	172、 173、 187	11、 12、 13	2.00
9	外部機器から動画撮影を制御できるようになりました。これにともないセットアップメニューの  接続設定 > PC 接続モードが接続モードに変更されました。	244	14	2.00

追加 / 変更内容

追加または変更になった内容は以下のとおりです。

GFX 100 使用説明書：  —

Ver. 3.00

ピクセルシフトマルチショット

ボディ内手ブレ補正を利用して、0.5 画素単位でシフトした画像を 16 枚撮影し、それぞれ RAW 画像で記録できます。撮影した RAW 画像はパソコンの専用アプリケーションで合成処理を行い、高解像の RAW 画像を生成できます。


- 1 ドライブモードダイヤルを**MULTI**に設定します。
- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。
- 3 **ピクセルシフトマルチショット**を選び、**撮影間隔**を設定します。
 - **撮影間隔は最短**に設定することをおすすめします。
 - 1 枚ごとにフラッシュを発光させて撮影する場合は、**撮影間隔**をフラッシュのチャージ時間に合わせて設定してください。
- 4 シャッターボタンを押して撮影を開始します。
 - メモリーカードに撮影した RAW 画像が記録されます。
 - 振動を伝えないようにするため、セルフタイマーまたはリモートリリースで撮影してください。
- 5 パソコンで合成処理を行います。
 - 合成処理は FUJIFILM Pixel Shift Combiner で行えます。
 - 高解像度の RAW 画像の現像は Capture One 社の Capture One Express Fujifilm、Capture One Pro Fujifilm、Capture One Pro をご使用ください。FUJIFILM X RAW STUDIO、RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX では現像できません。



パソコンのソフトウェアの詳細やダウンロードは以下をご覧ください。

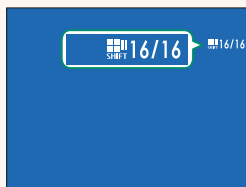
- **FUJIFILM Pixel Shift Combiner** :
<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>
- **Capture One Express Fujifilm** :
<https://www.captureone.com/ja/products-plans/capture-one-express/fujifilm>
- **Capture One Pro Fujifilm** :
<https://www.captureone.com/ja/explore-features/fujifilm>
- **Capture One Pro** :
<https://www.captureone.com/ja/explore-features>



- ピクセルシフトマルチショットはテザー撮影にも対応しています。テザー撮影は FUJIFILM Pixel Shift Combiner で行います。
- フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $\frac{1}{5}$ 秒（14bit RAW 記録時）、 $\frac{1}{25}$ 秒（16bit RAW 記録時）以下です。
- ピクセルシフトマルチショット撮影時は、以下の制限があります。
 - 電子シャッターのみでの撮影になります。
 - ISO 感度は最大 1600 に制限されます。ISO 1600 以上または **AUTO** に設定している場合は ISO 1600 になり、ISO 1600 未満に設定している場合は、設定値のままになります。
 - **RAW 記録方式の記録方式はロスレス圧縮のみになります。**
 - フォーカスモードが **C** (AF-C) 場合は、**S** (AF-S) で撮影されます。**S** (AF-S) または **M** (マニュアル) の場合は、設定されているフォーカスモードのまま撮影されます。
 - 動きのある被写体や撮影中に振動、明るさの変化がある場合は、うまく合成できないことがあります。
 -  **撮影設定 > フリッカー低減**は自動的に **OFF** になります。
 - 露出補正は 16 枚すべて同じ設定で撮影されます。

再生表示

ピクセルシフトマルチショットで撮影された画像を 1 コマ再生すると、ピクセルシフトマルチショットを示すアイコンが表示されます (📖 11)。



RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

記録方式

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全に復元できます）。「Capture One Express Fujifilm」や、「RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPPIX」、 「FUJIFILM X RAW STUDIO」などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。記録した画像は 非圧縮 と同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 30～90%、16bit RAW で約 45～100% になります。
圧縮	データを非可逆圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全には復元できません）。記録した画像は 非圧縮 とほぼ同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 25～35%、16bit RAW で約 30～40% になります。














出力

設定	説明
16 bit	16 ビットの RAW 画像を出力します。
14 bit	14 ビットの RAW 画像を出力します。

 **16 bit** はドライブモードが **1 コマ撮影** のときのみ有効です。

フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色を抑えて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適しています。
 クラシックネガ	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 ETERNA/ シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画の撮影に適しています。
 ETERNA プリーチ バイパス	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。
 ACROS *	質感が豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 モノクロ *	モノトーンの表現を活かしたモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 セピア	ウォーム調の色合いで温かみのある雰囲気表現に適しています。

* 選んだフィルターの補色の色が濃くなります。**Ye** フィルターは青から紫系が濃くなり、**R** フィルターは青から緑系が深くなります。**G** フィルターは赤系、肌色系が深くなるので人物撮影などに適しています。

グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を加えます。

強度

設定	説明
強	濃い粒状を与えます。
弱	薄い粒状を与えます。
OFF	使用しません。


粒度

設定	説明
大	粒の粗い質感を与えます。
小	粒の細かい質感を与えます。

カラークローム ブルー

青系の色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

 カラークローム ブルーは以下の設定項目にも追加されます。

-  画質設定 > カスタム登録 / 編集 (GFX 100 使用説明書：📖 118)
-  再生メニュー > RAW 現像 (GFX 100 使用説明書：📖 179)
-  表示設定 > リアサブモニター設定 (GFX 100 使用説明書：📖 218)
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集
(GFX 100 使用説明書：📖 222、255)
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定
(GFX 100 使用説明書：📖 223、259)

フォーカス BKT

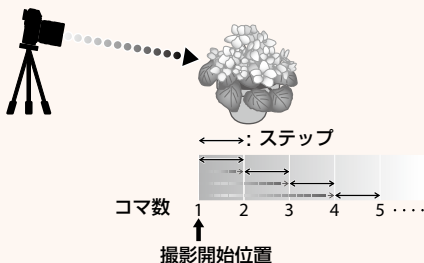
フォーカス BKT 撮影の方法をマニュアルか **AUTO** で選べます。

- **マニュアル**：マニュアルを選ぶと、次の項目を手動で設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	ピントの変化量を選びます。
撮影間隔	次の撮影までの時間を選びます。


コマ数 / ステップとピント位置の関係について

コマ数 / ステップとピント位置の関係は図のようになります。



- ピント位置は、撮影開始位置から無限遠側に向かって移動します。
- ステップの数値が小さいとピント位置の間隔は狭くなり、大きいと広くなります。
- ピント位置が無限遠に到達すると、コマ数の設定に関わらず撮影を終了します。

- **AUTO** : **AUTO** を選ぶとカメラがコマ数とステップを自動で設定します。

1 撮影メニューから  撮影設定 > フォーカスBKTを選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

2 **AUTO**を選んでから、撮影間隔を設定します。

撮影画面が表示されます。

3 被写体のもっとも手前にピントを合わせて**MENU/OK**ボタンを押します。

距離指標上に **A** が設定されます。



もっとも遠い方を先に設定しても、ピントを合わせる範囲は変わりません。



4 被写体のもっとも遠い方にピントを合わせて**DISP/BACK**ボタンを押します。

距離指標上に **B** が設定され、ピントを合わせる範囲 (**A** と **B** の間) が設定されます。



DISP/BACK ボタンの代わりに **MENU/OK** ボタンを押して再度 **A** を設定することもできます。



5 撮影します。

カメラが**コマ数**と**ステップ**を自動で設定します。撮影コマ数は撮影画面に表示されます。



F-Log/HLG/RAW 撮影

F-Log、HLG（Hybrid Log-Gamma）および RAW で撮影された映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
   	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
 F-Log  F-Log	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
   F-Log	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには F-Log で撮影された映像が出力されます。
 F-Log  	メモリーカードには F-Log で撮影された映像が記録され、外部レコーダーにはフィルムシミュレーション映像が出力されます。
 HLG  HLG	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。
   RAW	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには RAW で撮影された映像が出力されます。
 F-Log  RAW	メモリーカードには F-Log で撮影された映像が記録され、外部レコーダーには RAW で撮影された映像が出力されます。
 HLG  RAW	メモリーカードには HLG で撮影された映像が記録され、外部レコーダーには RAW で撮影された映像が出力されます。

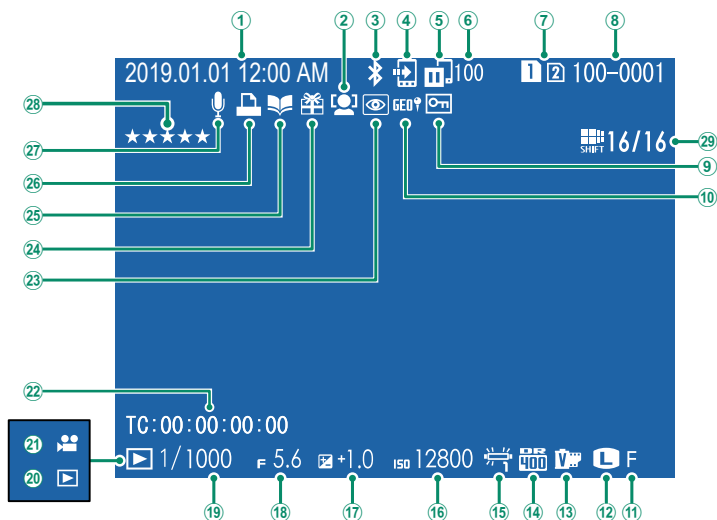


- **F-Log** は、撮影後の映像処理（ポストプロダクション）を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。ISO 感度は ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- **HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 1250 以上、ISO 12800 以下になります。撮影メニューの **動画設定 > H.265(HEVC)/H.264** で **H.265(HEVC)** を選んでいるときに撮影可能です。
- フィルムシミュレーションの映像 (🎞️) は、撮影メニューの **動画設定 > 🎞️ フィルムシミュレーション** で選んでいる設定になります。
- **SD 🎞️ HDMI F-Log** または **SD F-Log HDMI 🎞️** のときは、HDMI 出力とカメラ内 SD カード記録で、異なる画像サイズ (4K、Full HD) を選択することはできません。また、**動画設定** の以下のメニューは使用できません。
 - 動画モードのフレームレート：59.94P、50P
 - 4K フレーム間ノイズリダクション
 - HDMI 出力情報表示
- **RAW** で撮影された映像は、メモリーカードには記録できません。
- **RAW** で撮影された映像は、カメラ内部の画像補正処理が反映されません。
- カメラの画面に表示される画質や撮影範囲 (画角) は、外部レコーダーに出力される映像とは異なります。**RAW** で出力された映像は外部レコーダーで確認してください。
- 外部レコーダーの表示画質は、外部レコーダーの仕様にもとづいて RAW から作られる映像であり、最終的なポストプロダクションなどで得られる映像を再現できない場合があります。
- HDMI 出力に **RAW** を選んだときは、カメラの画面の拡大表示機能は使用できません。
- **RAW** で撮影された映像を、対応している外部レコーダー以外で HDMI 出力すると、モザイク画像が表示され正しく表示できません。
- HDMI 出力に **RAW** を選んだときは、メモリーカードに記録される映像 (🎞️、**F-Log**、**HLG**) の ISO 感度は ISO 1250 以上、ISO 12800 以下になります。

再生時の画面表示

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

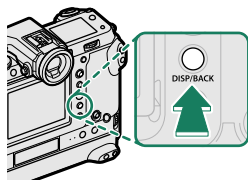
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



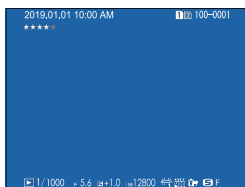
- | | |
|--------------------|------------------------|
| ① 日付・時刻 | ⑬ ISO 感度 |
| ② 顔検出 | ⑭ 露出補正 |
| ③ Bluetooth ON/OFF | ⑮ 絞り値 |
| ④ 画像転送予約 | ⑯ シャッタースピード |
| ⑤ 画像転送状況 | ⑰ 再生モード |
| ⑥ 画像転送予約枚数 | ⑱ 動画アイコン |
| ⑦ カードスロット | ⑲ タイムコード |
| ⑧ コマ NO. | ⑳ 赤目補正 |
| ⑨ プロテクト | ㉑ プレゼント |
| ⑩ 位置情報 | ㉒ フォトブックアシスト |
| ⑪ 画質モード | ㉓ プリント予約 |
| ⑫ 画像サイズ | ㉔ ボイスメモ |
| ⑬ フィルムシミュレーション | ㉕ レーティング.....13 |
| ⑭ ダイナミックレンジ | ㉖ ピクセルシフトマルチショット.....1 |
| ⑮ ホワイトバランス | |

情報表示の切り替え

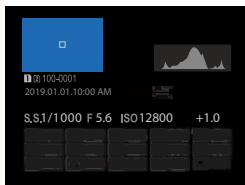
再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



情報表示なし



INFO 画面

お気に入りを設定する

お気に入りの設定は、再生メニューのレーティングで行います。

レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

1 再生メニュー＞レーティングを選びます。

2 フロントコマンドダイヤルでランク付けをしたい画像を選び、リアコマンドダイヤルで★の数（0～5）を設定します。




- フロントコマンドダイヤルの代わりにフォーカスレバーで画像を選ぶこともできます。
- 1コマ再生画面や9コマ再生画面、マルチサムネイル画面のときに **AE-L** ボタン（縦位置 **AE-L** ボタン）を押して、レーティングの画面に切り替えることもできます。
- タッチパネルで画像の拡大や縮小ができます。


接続モード

外部機器とカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USB カードリーダー	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパソコンに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー撮影 自動	<p>USB ケーブルでパソコン、ジンバル、ドローンなどを接続すると、外部機器からカメラの制御が可能になります。接続した外部機器の電源を入れると、カメラは自動的にテザー撮影状態（外部機器による制御を受け付ける状態）になります。外部機器と接続していないときや外部機器の電源がオフのときは、通常通りにカメラを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Capture One」、Adobe® Photoshop® Lightroom® + Tether Plugin]、FUJIFILM X Acquire がインストールされているパソコンと接続すると、撮影した静止画をパソコンへ自動転送したり、パソコンから静止画の撮影を制御したりできます。「FUJIFILM X Acquire」では、カメラ設定の保存や読み込みも可能です。 対応したジンバル・ドローンなどを接続すると、ジンバル・ドローン側からカメラの制御が可能になります。制御は静止画撮影と動画撮影の両方行えます。静止画撮影、動画撮影の切り替えはカメラのドライブモードダイヤルで設定します。使用できる機能は接続先のジンバル・ドローンの仕様によって異なります。
USB テザー撮影 固定	<p>USB テザー撮影 自動と使用できる機能は同じです。ただし、外部機器を接続していないときや外部機器の電源がオフのときも、テザー撮影状態（外部機器による制御を受け付ける状態）になります。USB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度 USB ケーブルを接続すると、外部機器からの制御を継続できます。工場出荷時の設定では、撮影した静止画はメモリーカードに記録されませんのでご注意ください。</p>
ワイヤレス テザー撮影 固定	<p>ワイヤレス接続でテザー撮影モードになります。 <input checked="" type="checkbox"/> 接続設定 > ネットワーク設定でアクセスポイントを設定してください。</p>

設定	説明
USB RAW 現像 / 設定保存読込	<p>USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に「USB RAW 現像」「設定保存読込」が可能になります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> USB RAW 現像：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X RAW STUDIO) カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質に RAW 現像を行います。 設定保存読込：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X Acquire) カメラの設定の保存、読込ができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。接続していないときは通常のカメラとして動作します。

 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** の設定は、テザー撮影中（外部機器を接続した撮影中）も有効になります。テザー撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。

 パソコンのソフトウェアの詳細やダウンロードは以下をご覧ください。

- Capture One Express Fujifilm** :
<https://www.captureone.com/ja/products-plans/capture-one-express/fujifilm>
- Capture One Pro Fujifilm** :
<https://www.captureone.com/ja/explore-features/fujifilm>
- Adobe® Photoshop® Lightroom® + Tether Plugin** :
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/adobe-photoshop-lightroom-tether-plugin/>
- FUJIFILM X Acquire** :
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/x-acquire/>
- FUJIFILM X RAW STUDIO** :
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/x-raw-studio/>
- RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX** :
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>
- FUJIFILM Pixel Shift Combiner** :
<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

